

集団検診の目的は、健常者の集団を対象とした早期診断によって癌死亡率を低下させ、生存率の向上を図ることにある。したがって、集検レベルにおいては、死なない段階で癌が発見できればよいことになる。今回の特集は、胃集検の第一線施設の現況からみて、成熟段階における間接 X 線集検ではどのような病変が発見され、どのような病変が見逃されやすいかを明らかにすることで、今後の集検を展望できればと思い企画した。各論文の成績には共通な部分も多く、間接 X 線による集検発見癌の特徴がうかがわれた。すなわち、進行胃癌についてはほぼ満足できる発見率であるが、早期胃癌、殊に未分化型ではかなり不良であること、C 領域の診断に問題のあること、近年の診断精度の向上は明らかであるが、逐年検診がな

お必要であることなどである。

今回の特集で、志賀論文は B 方式(内視鏡集検)を対照とした場合の間接 X 線撮影における診断精度の実態と問題点を明らかにしているが、早期胃癌に対する診断精度は内視鏡集検に比して極めて不良であり、このことは今後の集検の在り方を問ううえで、大きな問題を投げかけているように思われる。集検の目的が死なない癌の発見であるならば、診断精度を微小胃癌レベルに求めることは酷であろうし、またコストとの折り合いも常に問題となる。間接 X 線集検の診断精度の向上がどの程度まで可能であるか、集検発見胃癌の特徴、集検発見不能癌の特徴などから、もう一度考えてみる必要があるようである。

胃と腸

1月号 (第27巻・第1号) 予告

発売予定 1月25日
定 価 1,957円(税込)

主題／胃癌の自然史を追う

序 説 主 題	胃癌の自然史……………東京医歯大・1病理	中 村 恭 一
	固定集団における胃癌の自然史……………東京都がん検診センター	西澤 護・他
主題症例	逆追跡による胃癌の発育経過……………鹿児島大・2内	西俣 寛人・他
	発育経過からみた胃癌の自然史—癌組織型と発育進展様式について……………金沢大・がん研	磨伊 正義・他
	逆追跡による胃癌の発育経過—2年以上の内視鏡経過例について……………県立がんセンター新潟病院	小越 和栄・他
	微小胃癌からみた胃癌の発育経過—病理形態学的解析……………新潟大・1病理	渡辺 英伸・他
	4年7か月の経過の後 linitis plastica 型胃癌に発展した IIc 型早期胃癌の1例……………福井県立病院・外科	山脇 優・他
	胃角部前壁からの生検で癌を証明され、その6年2か月後に Borrmann 2 型癌として切除された1例……………市立伊勢総合病院・放	中野 實・他
	腺腫の癌化と考えられた I 型早期胃癌の1例……………山梨県立中央病院・消内	川合 耕治・他
	生検で癌陽性の IIc から Borrmann 3 型に推移し、10年6か月にわたって画像的に経過追跡した1例……………江戸橋内科センター診療所	加藤 一雄・他
	幽門部大彎側前壁の IIa 様病変を内視鏡的に約10年間経過観察、最終的に1分化型の m 癌に推移した1例……………朋愛胃腸科医院	倉俣 英夫・他
	IIc・UI (一) から Borrmann 2 型への発育が5年8か月にわたり逆追跡された1例……………順天堂大・消内	三輪 洋人・他

胃と腸 (第26巻 第12号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 社内案内 (03) 3817-5600

本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1991年12月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 1,957円(本体 1,900円) (配送料 81円)

年ぎめ予約購読料 22,320円(本体 21,670円)

(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1991, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• 無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当) 窪田・渡邊・江口・長谷川